

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	1	事業名	攻めの巡回相談強化事業				戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会			
担当部名	事業振興部		担当課名	経営支援課	担当課長名	佐藤大輔	施策コード	1	施策名	巡回相談の質的向上による個社支援の強化			

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

個社支援の中核となる巡回指導は、これまできめ細かく巡回することを重要視した総件数の管理を中心に行ってきたが、巡回による効果効用等、内容を重視した質的向上が求められている。

2. 事業のねらい

全県統一の指針となる「巡回相談の質的向上を図るためのガイドライン」を策定し、事業者の経営実態や課題を的確に把握し、実効性の高い具体的な解決策をタイムリーに提案する「攻めの巡回相談」を実行する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	－	H30	A	R1	A	R2	A
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

「巡回相談の質的向上を図るためのガイドライン」の浸透により、解決提案・実行支援につながる質の高い巡回が実行され、事業継続力強化計画（BCP）をはじめとした事業計画策定支援につながった。

4. 昨年度の評価（対応方針）に対する対応

ポストコロナ時代を見据えた経営課題の解決を図るため、県連合会にオンライン会議システムを活用した「経営アシスト会議」を創設し、指導助言が的確に得られる仕組みを整備することで職員の巡回活動を強化する。

【取組評価】																	
取組コード	取組					実績						必要性	有効性	効率性	総合評価		
1	巡回活動ガイドラインの策定・実施					平成29年度に「巡回相談の質的向上を図るためのガイドライン」を策定済み。						－	－	－	－		
2	効率的な巡回手法の構築					月次巡回計画により、進捗管理を徹底している。						a	a	a	A		
3	解決提案・実行支援型巡回の徹底					新型コロナ対策への対応を中心として、目標を上回る実績となった。						a	a	a	A		

評価指標と実績 達成度： a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	2					取組コード	3					取組コード					
指標名	巡回件数／経営指導員1人					指標名	うち解決提案・実行支援の割合					指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	560件	520件	500件	480件	360件	目標	15%	30%	40%	45%	50%	目標					
実績	654件	636件	592件	529件	518件	実績	26%	32%	41%	53%	54%	実績					
達成率	117%	122%	118%	110%	144%	達成率	173%	107%	103%	118%	108%	達成率					
達成度	a	a	a	a	a	達成度	a	a	a	a	a	達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性

【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈評価の理由〉

ポストコロナ時代を見据えた事業計画の策定という課題に対し、令和2年度の解決提案・実行支援割合が50%を超えるなど、経営課題の解決に向けた事業計画策定へ着実に繋がったため、本事業は必要性が高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況

【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

事業再構築補助金をはじめとした各種補助制度等に対して、実効性の高い具体的な解決策をタイムリーに提案するなど経営指導員1人当たりの巡回を質・量ともに目標達成したことから、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況

【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

コロナ禍において、各種補助制度の紹介といったような目的を明確にした巡回を行ったことにより、時間的コストの縮減につながった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果が すべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

A

「巡回相談の質的向上を図るためのガイドライン」の浸透により、解決提案・実行支援につながる質の高い巡回が定着し、事業再構築補助金や小規模事業者持続化補助金といった事業計画策定支援につながった。

3. 課題

ポストコロナを見据えた新たな挑戦に取り組む事業者を支援するため、実効性の高い具体的な提案を計画的な巡回活動により行っていく必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

経営革新や事業再構築などの取組に挑戦しやすい環境を整備するほか、チーム支援ガイドラインの推進を図りながら、関係団体や専門家、県連合会を含めたオンライン経営相談の仕組みを構築する。